



2025年4月2日

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社
代表者名 代表取締役社長 崔 元 根
(コード番号 6619 東証プライム)
問 合 せ 先 取 締 役 大 内 秀 雄
(<https://w-scope.co.jp/ir/contact.html>)

第 20 期定時株主総会招集ご通知記載事項の一部訂正について

第 20 期定時株主総会開催にあたり、明日発送の「第 20 期定時株主総会招集ご通知」【交付書面】及びオンラインで開示しています「第 20 期定時株主総会招集ご通知」記載事項の一部に訂正がございます。謹んでお詫び申し上げますとともに、本ウェブサイトへの掲載をもって下記のとおり訂正のご連絡をさせていただきます。

記

(訂正箇所 1)

第 20 期定時株主総会招集ご通知 14 ページ【交付書面】

事業報告

企業集団の現況に関する事項

(4) 対処すべき課題

- ② 財務上の対処すべき課題 (訂正箇所到下線を付しております。)

(訂正前)

当社グループは、当連結会計年度に営業活動によるキャッシュ・フローのプラスを計上しましたが、当社では継続して営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、債務の支払いに懸念が生じているため、連結子会社を含めた資金繰りを考慮する必要があります。連結子会社である W-SCOPE KOREA CO., LTD.(以下、WSK)を含めた第三者から資金調達を実施する必要がありますが、WSK は前連結会計年度に引き続き、当連結会計年度においても営業損失を計上しています。これらの状況から、当連結会計年度末において継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しています。

当社はこのような事象又は状況を解消すべく、新規顧客とのハイエンド車載用電池向けや新規事業の取引開始に向けて準備を進めております。WSK については、イオン交換膜事業における顧客との新規契約及び既存交換需要によるキャッシュインを見込んでおります。また、上期中には長期供給契約を締結する予定となっており、2026 年以降には当該顧客以外にも数社へ供給開始を予定しております。

セパレータ事業においても主要顧客である SDI 社との現状の協議においては下期からは需要の回復を見込んでおり、2026 年上期には欧州車載用途セパレータ需要も回復し、セパレータ製造ラインはフル稼働の状況に回復する見通しです。

資金面では、当社の債務の支払資金を確保するために、WSK の事業進捗や金融機関等からの借入に伴う WSK の資金を利用しながら当社の運転資金を賄うほか、当社への貸付を計画しております。

以上の当社グループの対応策の実施により、当社は資金を確保することが可能であり、資金繰りは改善することから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は存在しないものと認識しております。

(訂正後)

当社グループは、当連結会計年度に営業活動によるキャッシュ・フローのプラスを計上しましたが、当社では継続して営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、債務の支払いに懸念が生じているため、連結子会社を含めた資金繰りを考慮する必要があります。これらの状況から、当連結会計年度末において継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していますが、当社の資金面においては、当連結会計年度末の手元資金の確保状況をもとに、当社の年度事業計画に基づく今後の収支推移見込み及び連結子会社を含めた資金繰りを踏まえ、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

なお、当社は、新規顧客とのハイエンド車載用電池向けや新規事業の取引開始に向けて準備を進めております。連結子会社である W-SCOPE KOREA CO., LTD.(以下、WSK) は、前連結会計年度に引き続き当連結会計年度においても営業損失を計上しておりますが、イオン交換膜事業における顧客との新規契約及び既存交換需要を見込んでおります。

セパレータ事業においても主要顧客である SDI 社との現状の協議においては 2025 年下期からは需要の回復を見込んでおり、2026 年上期には欧州車載用途セパレータ需要も回復し、セパレータ製造ラインはフル稼働の状況に回復する見通しです。

グループ全体の資金面においては、当社の債務の支払資金を確保するために、WSK の事業進捗や金融機関等からの借入に伴う WSK の資金を利用しながら当社の運転資金を賄うほか、当社への貸付も計画しております。

(訂正箇所 2)

第 20 期定時株主総会招集ご通知【Web 開示】52 ページ

連結計算書類

金融商品に関する注記

3. 金融商品の時価レベルごとの内訳等に関する事項

(2) 時価で連結貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

(訂正箇所に下線を付しております。)

(訂正前)

当連結会計年度 (2025 年 1 月 31 日)

区分	時価 (百万円)			
	レベル 1	レベル 2	レベル 3	合計
投資有価証券 関連会社株式	<u>13,902</u>	—	—	<u>13,902</u>
長期貸付金	—	270	—	270
長期借入金	—	807	—	807

(訂正後)

当連結会計年度 (2025 年 1 月 31 日)

区分	時価 (百万円)			
	レベル 1	レベル 2	レベル 3	合計
投資有価証券 関連会社株式	<u>14,197</u>	—	—	<u>14,197</u>
長期貸付金	—	270	—	270
長期借入金	—	807	—	807

(訂正箇所 3)

第 20 期定時株主総会招集ご通知【Web 開示】70 ページ

監査報告書

(訂正箇所の下線を付しております。)

(訂正前)

ダブル・スコープ株式会社監査等委員会

常勤監査等委員 須 山 敦 子 ㊞

監査等委員 龍 田 有 理 ㊞

監査等委員 増 田 庸 司 ㊞

(訂正後)

ダブル・スコープ株式会社監査等委員会

監査等委員 須 山 敦 子 ㊞

監査等委員 龍 田 有 理 ㊞

監査等委員 増 田 庸 司 ㊞

以 上